

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深め言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	現代文編 1 ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 「季節の言葉と出会う」 「漢字と仮名の使い分け」	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直すようとしている。	○	○	○	6
	現代文編 2 表現を味わう 「水かまきり」 「とんかつ」	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取るようとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○	1
	古文編 1 古文に親しむ 「古文への招待」 「児のそら寝」	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	7
	漢文編 1 漢文に親しむ 「訓読のきまり」 「格言」 「再読文字」	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえて、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○	1	
2 学 期	現代文編 3 文化を見つめる 「足し算の文化」 「ほどほどのデザイン」	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	現代文編 4 物語を受け継ぐ 「羅生門」	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査				○	○	1
	古文編 2 随筆を楽しむ 「徒然草」 「枕草子」	・音読して古文の読み慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のもの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味をいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『枕草子』に興味をもち、作者のもの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつようとしている。	○	○	○	7
	漢文編 2 現代に生きることば 「守株」 「五十歩百歩」 「蛇足」 「借虎威」	・表題の言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○	1	
3 学 期	現代文編 5 ことばと生きる 「祖母が笑うということ」	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとしている。	○	○	○	6
	古文編 3 物語の広がり 「伊勢物語」 「平家物語」	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取るようとしている。	○	○	○	6
	漢文編 3 古人に学ぶ 「論語」	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえて、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文を読むことに興味をもち、『論語』と現代との関わりについて考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○	1
					○	○	合計 74

の目標：

選択・判断の手掛りとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、読資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力やを養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図るとや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚などを深める。

科目 公共	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛りとなる概念や理論について理解するとともに、読資料から、論理的な事象として活用するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛りとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察したり判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力やを養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図るとや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	記	出	当
1学期	青年期と社会参画 【知識及び技能】 人間は個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、自分自身が、自らの価値観を形成し、自立した主体となることで、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を存在することについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 当事者意識をもち、授業に参加し、社会の一員としての人間性を獲得することを目指す。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	宗教・思想・伝統文化と社会 【知識及び技能】 古今東西の幅広い物的遺産を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛りとなる概念や理論について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読資料の字彙を通じて、選択・判断するための在り方生き方を考え、自分なりにまとめて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の発表などの意見の表明に対し、否定するだけではなく論理的対話の基礎をつくり上げる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	○
1学期	社会の基本原則と憲法の捉え方 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本原則について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 片方の考えだけでなく、自分とは違う立場の意見なども考慮して授業に取組む姿勢を身に付ける。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	私たちと法 【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性を保つことが公共的な空間を形成する上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 法についてインターネットなども活用し、実際に法に触れるなどして、資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	○
1学期	私たちと政治 【知識及び技能】 政治参加と公平な世論の形成、地方自治、国家主権などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が積極的に参加し、築かれるものであることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットなども活用し、各自がテーマにもとづいて情報を集め、資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	国際政治の動向と平和の追求 【知識及び技能】 国土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通じて築かれるものであることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットなども活用し、各自がテーマにもとづいて情報を集め、資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	○
2学期	市場経済のしくみ 【知識及び技能】 市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、市場経済システムを機能させていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットなども活用し、各自がテーマにもとづいて情報を集め、資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	豊かな社会の実現 【知識及び技能】 雇用・労働問題の他、市場システムを機能させることや、国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に果たせることが必要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットなども活用し、各自がテーマにもとづいて情報を集め、資料に基づいて自身の考えを表明できるような学びに向かう力を育てる。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	定期考査				○	○	○	○
3学期	国際経済の動向と格差の是正 【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まりや、国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られることを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに自ら着目して、現代の諸課題を探索する活動を通して、平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画する態度を養う。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	5
	社会における諸課題の解決 【知識及び技能】 選択・判断の手掛りとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、読資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、自分の意見を表明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨み、仲間と協働して課題解決に取り組む姿勢をもつ。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
	社会における諸課題の解決 【知識及び技能】 選択・判断の手掛りとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、読資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、自分の意見を表明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的・自立的な態度で課題の設定から解決に臨み、仲間と協働して課題解決に取り組む姿勢をもつ。	・指導事項 教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現力】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	6
定期考査				○	○	○	○	1
				○	○	○	○	合計 70

大鳥(定)高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

教科: 地理歴史

対象学年組: 第2学年

教科担当: 工藤 和紀

使用教科書: 『高校生地理総合』帝國書院、『基本地図帳』二宮書店

教科: 地理歴史

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目: 地理総合

単位数: 2 単位

地理歴史 科目 地理総合

科目: 地理総合

単位数: 2 単位

目標:

現代世界の地理的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。

地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関する事象について、よりよい社会の実現を視野に課題に主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して深められる日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目: 地理総合

目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関する事象について、よりよい社会の実現を視野に課題に主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して深められる日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	表	配当 時数
<p>地理や地理情報システムでとらえる現代社会</p> <p>【知識及び技能】 地理の読み方や地形、地図や地図情報システム(GIS)を用いる基礎的な知識を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じて地図やGISを用いる方法を自分なりに考えられるようになる。</p>	<p>・教科書 ・地図帳 ・地球儀 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・知識について筋ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・地図帳や地球儀、紙の地図とデータの地図のメリットとデメリットを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
<p>結びつきを探る現代世界</p> <p>【知識及び技能】 地図情報システムや、そこから派生する技術の用いられ方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特定の課題について、地理情報システムの活用方法を多面的・多角的に思考できる。</p>	<p>・教科書 ・地球儀 ・映像資料 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・知識について筋ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・状況に応じて最適な地理システム・地図の形式を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8
<p>1 定期考査</p>			○	○	○	1
<p>1 学期</p> <p>生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、その多様性や地理的要因を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自他の文化を尊重し、国際理解をはかることの重要性を説明できる。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・知識について筋ごとに問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・多様性の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 アジアの経済発展と生活文化の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済発展と生活文化の関連性を説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中国・朝鮮半島の経済・生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・中国や朝鮮半島について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>2 定期考査</p>			○	○	○	1
<p>2 学期</p> <p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 東南アジアの生活における様々な地域との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人々の交流が文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 東南アジアの経済・生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・東南アジアについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 ヒンドゥー教の宗教圏における様々な地域について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 宗教やそれにもともなう生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・ヒンドゥー教の宗教圏について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域・宗教の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 中東アジア・北アフリカの地域における宗教・気候・経済の関連性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 宗教・気候・経済が生活文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の理解を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・中東アジア、北アフリカについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 中東アジア・南アフリカの様々な地域について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済が地域に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の理解を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・中東アジア、南アフリカについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパにおける様々な地域や文化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 宗教が文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 宗教やそれにもともなう生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・ヨーロッパについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパ北部・ロシアにおける様々な地域について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 気候が文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 宗教やそれにもともなう生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・ロシアを中心とする地域について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 アメリカ合衆国における様々な産業や、社会について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 産業が文化に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 産業の発展を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・アメリカ合衆国について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>多様な生活文化と地理的環境</p> <p>【知識及び技能】 ラテンアメリカやオセアニアにおける様々な地域や文化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 多様な文化が人々の生活に与える影響を説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化を通じて、国々のことを理解し受容する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・ラテンアメリカやオセアニアについて、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・国や地域の尊重が大切な理由を思考し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演習問題や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>9 学期</p> <p>地域の課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び住居・都市問題について、必要な知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で生じている問題に対し、主題を設定し、自分たちができることを考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な問題から世界に目を向ける姿勢をもって学習に取り組むこと</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
<p>自然災害と防災①</p> <p>【知識及び技能】 日本の自然環境・地震・津波や火山活動による災害と防災</p> <p>【思考・判断・表現】 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた地理的知識を得る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 災害は世界のどの地域で起きているのかをGISなどの情報処理をもとに説明できる。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・地球規模の問題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
<p>自然災害と防災②</p> <p>【知識及び技能】 気象災害と防災・自然災害への備え</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 災害に備えた各種の地理情報を読み取り、まとめるための知識を取得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えにはどのような物があり、自分の地域ではどのような災害に備える必要があるのかを考察し、表現できる。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・地域の課題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
<p>生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探求する手法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的、多角的に考察、構想して、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の暮らす地域について、地域で生活する以外の立場で考察するなど、多面的、多角的かつ地域の未来を考えながら取り組んでいる。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・地域の課題について、学習した知識について問題演習にて確認する。 【思考・判断・表現】 ・問題の解決には何が必要なのかを自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題演習や説明に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計
						70

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：片柳 仁美

使用教科書：（数研出版 新 高校の数学 I）

科目 数学 I の目標：

数と式、2次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを理解できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	計算の優先順位を理解し、その優先順位の通りに数の計算、分数の計算ができるようになる。	第1章 数と式 計算の基本	【知】四則が混じった計算の優先順位に従って計算できる。 【態】数の計算方法や単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、積極的に習得しようとする。	○		○	2
	単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解し、式の整理をすることができるようになる。ある数量について、文字を使った式で表現することができるようになる。	第1章 数と式 単項式と多項式	【知】単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解し、式の整理をすることができる。 【思】ある数量について、文字を使った式で表現することができる。	○	○		4
	指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算、式の展開ができるようになる。	第1章 数と式 展開	【知】指数法則や分配法則を理解し、乗法の計算ができる。 【思】式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【態】多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
		定期考査		○	○		1
	因数分解の公式を利用することができるようになる。因数分解の検算に展開を利用できることを理解する。	第1章 数と式 因数分解	【知】因数分解の公式を利用することができる。 【思】たすき掛けの仕組みを理解している。 【態】因数分解の検算に展開を利用しようとする。	○	○	○	6
	平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、乗法、分母の有利化の計算ができるようになる。有理数・無理数の定義や実数の分類について理解する。	第1章 数と式 実数	【知】平方根の意味を理解し、根号を含む式の加法、減法、乗法、分母の有利化の計算ができる。実数について理解している。 【態】実数を数直線上の点の座標として考察し、今までに学習してきた数の体系について整理しようとする。	○		○	6
	定期考査		○	○		1	
2 学期	不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようになる。	第1章 数と式 1次不等式	【知】不等号の意味、不等式が値の範囲を表すこと、不等式の性質を理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【態】1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○		○	8
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		○	○	6
		定期考査		○	○		1
	関数について理解し、関数を表、式、グラフによって考察することができる。	第2章 2次関数 関数	【思】2つの数量の関係を関数の式で表現することができ、関数を表、式、グラフによって考察することができる。 【態】日常の事象の中に関数を見つけようとする。		○	○	3
	放物線の形や軸、頂点について理解する。2次関数のグラフをかくことができるようになる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ（1）	【知】放物線の形や軸、頂点について理解し、グラフをかくことができる。 【思】2次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	10
		定期考査		○	○		1
3 学期	放物線の形や軸、頂点について理解している。 ⑦ 2次関数のグラフをかくことができる。	第2章 2次関数 2次関数のグラフ（2）	【知】放物線の形や軸、頂点について理解している。2次関数のグラフをかくことができる。 【思】2次関数のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【態】放物線のもつ性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	4
	2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、2次関数の最大値、最小値を求めることができるようになる。	第2章 2次関数 2次関数の最大値・最小値	【知】 ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形でき、 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかき、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【態】2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて視覚的に考察しようとする。	○		○	5
	2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができるようになる。	第2章 2次関数 グラフと2次不等式	【知】2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 【思】2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 【態】2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
		定期考査		○	○		1
				○	○		合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：（遠藤 拓也）

使用教科書：（実教科702 科学と人間生活）

教科 理科

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 息 態		配 当 時 数
				○	○	
1 学 期	1章 科学と技術の発展 ・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。【知識及び技能】 ・科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現できる。【思考力、判断力、表現力等】 ・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わってきたか発展してきたか、意欲的に学習しようとする。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.科学と技術の始まり 2.海 3.土 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 調査事項を報告書やスライドにまとめ、発表する。	・科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している。【知識・技能】 ・現代の科学技術について歴史的背景を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。【思考・判断・表現】 ・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わってきたか発展してきたか、意欲的に学習しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	6
	2章 2節 食品と衣料 ・食品の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質について、それぞれの性質を構造と関連付けて理解する。【知識及び技能】 ・衣料と食品に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・食品や衣料に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.食品にかかわるさまざまな物質 2.食品にかかわる物質 3.衣料にかかわる物質 特長 衣料に新たな性質・機能を与える加工 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・食品中の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質について、それぞれの性質を把握し理解している。またその成分や構造の違いから生ずる性質の違いを理解し、それぞれの性質の良さを見極めて日常生活に適切に利用できる。【知識・技能】 ・食品中の成分を検出する実験や、繊維の燃焼、簡単な化学繊維の合成などの観察、実験を通して、その構造や成分の違いに関して考察することができる。【思考・判断・表現】 ・食品中の成分が生命体においてどのような役割を果たしているか観察・実験を通して総合的に判断し、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・身近な食品中の成分や、衣料材料の性質や用途を追求し、生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維がどのように利用されているか関心を持ち、意欲的に学習しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	4
	定期考査			○	○	1
1 学 期	2章 2節 食品と衣料 ・食品の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質について、それぞれの性質を構造と関連付けて理解する。【知識及び技能】 ・衣料と食品に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・食品や衣料に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.食品にかかわるさまざまな物質 2.食品にかかわる物質 3.衣料にかかわる物質 特長 衣料に新たな性質・機能を与える加工 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・食品中の主な成分や衣料材料として用いられる代表的な物質について、それぞれの性質を把握し理解している。またその成分や構造の違いから生ずる性質の違いを理解し、それぞれの性質の良さを見極めて日常生活に適切に利用できる。【知識・技能】 ・食品中の成分を検出する実験や、繊維の燃焼、簡単な化学繊維の合成などの観察、実験を通して、その構造や成分の違いに関して考察することができる。【思考・判断・表現】 ・食品中の成分が生命体においてどのような役割を果たしているか観察・実験を通して総合的に判断し、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・身近な食品中の成分や、衣料材料の性質や用途を追求し、生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維がどのように利用されているか関心を持ち、意欲的に学習しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	8
	3章 1節 ヒトの生命現象 ・ヒトの生命現象について、眼の構造、健康管理、DNAと関連付けて理解する【知識及び技能】 ・ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの生命活動に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.私たちの生活環境と眼 2.ヒトの生命活動と健康の維持 3.ヒトの生命現象とDNA ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解している。【知識・技能】 ・すい臓から分泌されるホルモンの作用により血糖濃度が調節される仕組みを理解している。【知識・技能】 ・抗体による生体防御の概要を理解している。【知識・技能】 ・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつけられること、タンパク質がヒトの生命現象に関与していることを理解している。【知識・技能】 ・盲斑や近点を検出する実験を通して、眼の構造を説明することができる。【思考・判断・表現】 ・血糖濃度の調節について、グラフの読み取りを通してホルモンの働きを理解し、糖尿病と関連させて説明することができる。【思考・判断・表現】 ・DNAを模式的に示した図から、DNAの構造の特徴を読み取り、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲的に学習し、健康の維持について科学的な観点から理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	6
	定期考査			○	○	1
2 学 期	3章 1節 ヒトの生命現象 ・ヒトの生命現象について、眼の構造、健康管理、DNAと関連付けて理解する【知識及び技能】 ・ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの生命活動に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.私たちの生活環境と眼 2.ヒトの生命活動と健康の維持 3.ヒトの生命現象とDNA ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解している。【知識・技能】 ・すい臓から分泌されるホルモンの作用により血糖濃度が調節される仕組みを理解している。【知識・技能】 ・抗体による生体防御の概要を理解している。【知識・技能】 ・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつけられること、タンパク質がヒトの生命現象に関与していることを理解している。【知識・技能】 ・盲斑や近点を検出する実験を通して、眼の構造を説明することができる。【思考・判断・表現】 ・血糖濃度の調節について、グラフの読み取りを通してホルモンの働きを理解し、糖尿病と関連させて説明することができる。【思考・判断・表現】 ・DNAを模式的に示した図から、DNAの構造の特徴を読み取り、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲的に学習し、健康の維持について科学的な観点から理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	6
	4章 2節 光の性質とその利用 ・光の基本的な性質や人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・光に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・光に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.光 2.電磁波の利用 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。【知識及び技能】 ・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】 ・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	4
	定期考査			○	○	1
2 学 期	4章 2節 光の性質とその利用 ・光の基本的な性質や人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・光に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・光に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.光 2.電磁波の利用 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。【知識及び技能】 ・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。【知識及び技能】 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・スペクトルなどによる電磁波の分類に関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。【思考力、判断力、表現力等】 ・自然界に見られる光の現象に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	8
	5章 2節 身近な自然景観と自然災害 ・身近な自然景観、特に大島の景観と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・身近な自然景観に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観や災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.身近な景観のなりたち 2.地球内部のエネルギー 3.自然の恵みと自然災害 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・自然景観の恵恩を理解するとともに、身近な地域に潜在する自然災害のリスクを理解している。【知識及び技能】 ・自然災害の起る原因や条件を理解し、ハザードマップなどの調査を通して、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観の成因を科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観や自然災害に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】 ・自然景観の成因や自然災害の起る状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身に付けようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	8
	定期考査			○	○	1
3 学 期	5章 2節 身近な自然景観と自然災害 ・身近な自然景観、特に大島の景観と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】 ・身近な自然景観に関する観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観や災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1.身近な景観のなりたち 2.地球内部のエネルギー 3.自然の恵みと自然災害 ・教材 教科書、ワーク、プリント等 ・一人1台端末の活用 実験結果や調査結果をレポートにまとめる。	・自然景観の恵恩を理解するとともに、身近な地域に潜在する自然災害のリスクを理解している。【知識及び技能】 ・自然災害の起る原因や条件を理解し、ハザードマップなどの調査を通して、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観の成因を科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な自然景観や自然災害に関心を持ち、意欲的に調べようとする。【学びに向かう力、人間性等】 ・自然景観の成因や自然災害の起る状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身に付けようとする。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	6
	探究活動 ・安全性に配慮した実験の計画・実施ができるようになる。【知識・技能】 ・実験操作や実験の内容を他者と協力して進め、互いに学びあうことができる。【思考・判断・表現】 ・実験の計画・準備・実施を他者と協力しながら積極的に進めることができる。【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 実験を設定し、実験教室を行うための企画・予備実験を行い、校内で実験教室を開催する。 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 調査および探究のまとめ、発表を端末を用いて行う。	・安全性に配慮した実験を行うことができる。【知識・技能】 ・計画した実験について、背景知識を説明できる。【知識・技能】 ・他者が理解しやすいため、整理された実験操作を準備し説明できる。【思考・判断・表現】 ・他者と協力しながら積極的に準備・実施に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	9
	定期考査			○	○	1
				○	○	合計
						70

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年

1組～1組

教科担当：（1組：大山宗一郎）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

【知識及び技能】

各種運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。1人1人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<p>【知識及び技能】体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献することなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストレッチ・筋力トレーニング・コーディネーション・なわとび・おにごっこ</p> <p>・学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境</p> <p>・教科書・学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について</p> <p>【知識・技能】言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】課題を発見しよりよい環境に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・ドライブ・クリア・ヘアピン</p> <p>・ロブ・ドロップ</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動継続の必要性を理解し、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ムムやアムを大切にすること、自己の責任を果たすこと、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすること、表裏の攻防法に関する心構えを守ることなど健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 スタート・クロール・平泳ぎ</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間へ伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入めぐる攻防を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間へ伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組もうとすること。</p>	<p>・指導事項 バス・ドリブル・シュート</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】選択した運動に必要な準備運動や自己を取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】回転系や巧技系の基本的な技を確からしく安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、演技を演じる。互いに助け合い教え合う、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどや、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 回転系 巧技系</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自己の状況にかかわらず、互いに謙さ合おうとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】自己に適したペースを維持して走る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間へ伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとすること。</p>	<p>・指導事項 フォーム・呼吸法</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
<p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を行う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にする。作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合い教え合うことや、健康・安全を確保する。</p>	<p>・指導事項 サープ・フォア・バック</p> <p>・教材 学習シート</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>個人の学習計画や進捗を管理する</p>	<p>【知識・技能】ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	8	
						合計	72

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者： 宮内 淑子

使用教科書：（ 高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる ）

教科 家庭科

の目標： 授業を通して生活に必要なスキルと知識を身に付ける。

【知識及び技能】 道具の特性を理解し、課題制作に適切に活用する。

【思考力、判断力、表現力等】 授業を通して思考し、生活に必要な知識を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 題材の目標を理解して、作品制作に真摯に取り組む。

科目 家庭総合

の目標： 多様な表現の基礎を学び、今後の作品制作に活用していけるようになる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
道具の特性を理解して、作品制作に活用できる。	授業を通して何を考え、何を伝えようとし、生活の場面でどう表現したらよいかを具現化しようとしている。	真剣に授業に向かっている。

	単元計画	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○生涯発達する自分 ・青年期を生きる ・キャリアの形成 ○経済生活をつくる ○被服製作 ・私たちと衣生活 ・被服の機能 ・被服の選び方	・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
2 学 期	○人の一生と被服 ○人の一生と食事 ・人体と栄養 ・炭水化物 ・脂質 ・タンパク質 ・ミネラル ・ビタミン ・嗜好食品と健康増進のための食品 ・食品の安全と衛生 ・栄養バランスのよい食事 ・ライフステージと食事	・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	○調理の基本 ・調理器具の扱い ○充実した生涯へ ・超高齢社会を生きる ・高齢期の生活 ・高齢社会を生きる	・教材 教科書、ワーク、プリント 等 ・一人1台端末の活用 授業の感想などをレポートにまとめる。	・授業で学んだことを活かし、道具の特性を理解し、作品制作に活用している。【知識及び技能】 ・授業で学んだことを活かし、どうすれば、日常の生活力が向上するかを考え、それを表現する事ができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・授業に意欲的に取り組み、内容を主体的に理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度（1～2学年用） 教科

人間と社会 科目

教科：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第 1～2 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】

生徒が意見交換し、自己の意見と異なる意見があること、自己と同じ意見でも理由が異なることを発見する。

【思考力、判断力、表現力等】

体験活動を通じて道徳性を養い、自分自身の価値観に基づく判断基準を形成し、社会的現実を照らしてよりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。

科目

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒が意見交換し、自己の意見と異なる意見があること、自己と同じ意見でも理由が異なることを発見する。	体験活動を通じて道徳性を養い、自分自身の価値観に基づく判断基準を形成し、社会的現実を照らしてよりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う。	興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>○事前学習 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人間と社会」で育成したい資質・能力や評価について説明する ・郷土の自然維持や環境美化の体験活動の意義について考える。また周囲の人々に配慮しながら安全に活動を行うための注意点について説明する。 <p>○体験活動 1</p> <p>大島の環境美化活動（海浜清掃）</p> <p>（1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島町役場</p> <p>1 チームを動かす力</p> <p>（1）リーダーシップとは</p> <p>（2）リーダーシップを発揮するとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ <p>あなたならどうする？で議論する</p>	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。				6
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>○事前学習 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の意義と安全に「火の用心」を行うための注意点について <p>○体験活動 2</p> <p>地域社会の安全向上のための活動（夜間パトロール）</p> <p>（1）郷土を大切にすることを養う 連携先 大島警察署</p> <p>2 文化の多様性</p> <p>（1）様々な文化</p> <p>（2）文化の背景</p> <p>（3）東京に集まる外国人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ <p>あなたならどうする？で議論する</p>	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。				6
興味・関心やをもち、これからの自分の生き方を考え、自分で選択し行動することの意義を学ぶ。	<p>3 科学技術と生命倫理</p> <p>（1）科学技術が踏み込む「生命」</p> <p>（2）医療技術の進歩に関する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖医療 ・中絶 ・終末医療と安楽死 ・クローン技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ドーピングなどについて議論する 	出席状況、授業に対する取り組み状況などを総合的に判断して文章で評価する。				2
						合計
						14